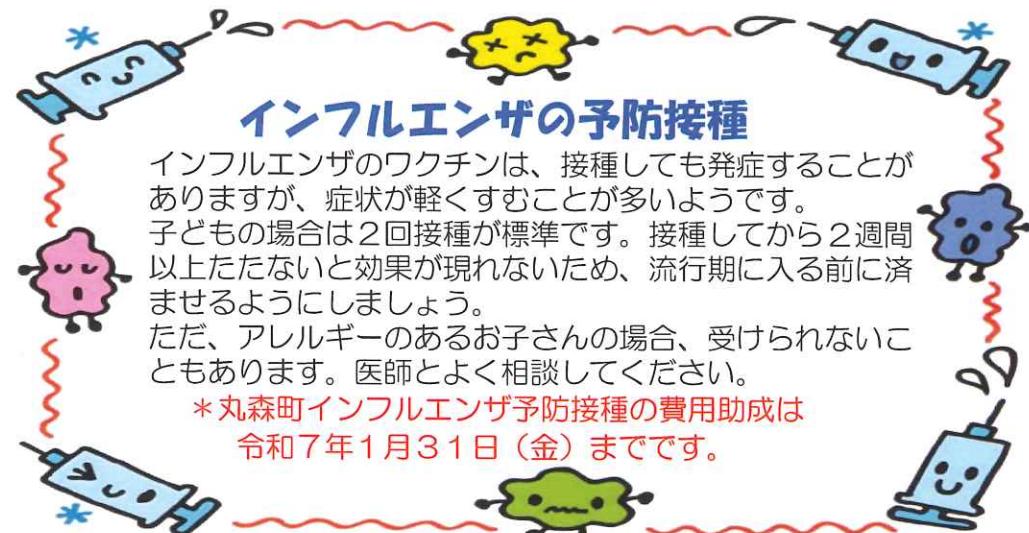
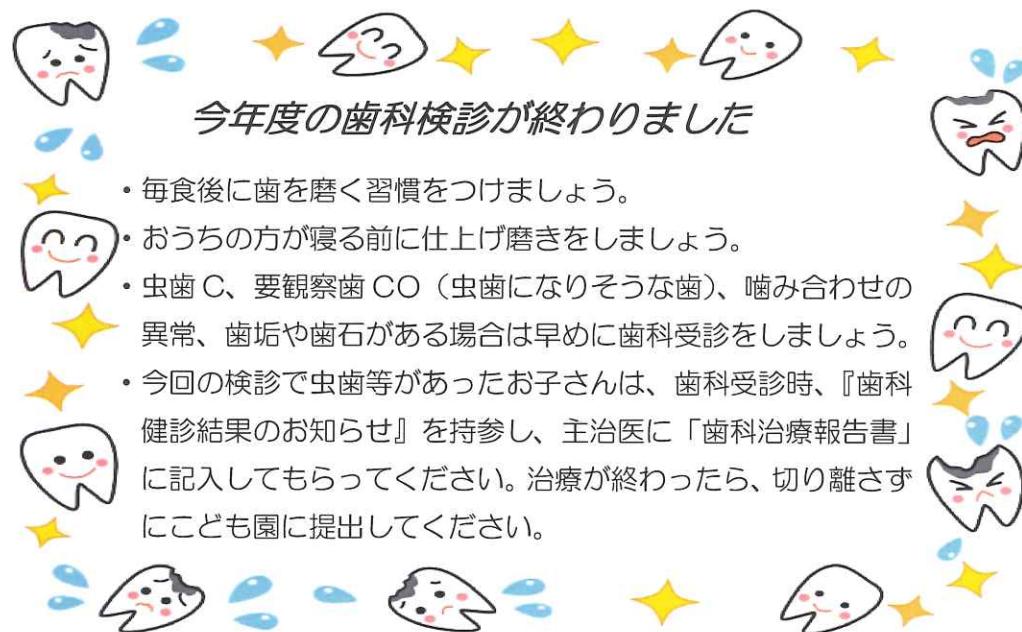




朝晩の気温が低くなり、体調を崩すお子さんが増えてきました。全国的には、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・マイコプラズマ肺炎の感染増加が心配されています。また、感染性胃腸炎が流行する季節です。ご家庭での健康観察を丁寧に行っていただくと共に、風邪症状（発熱・咳・鼻水・下痢・嘔吐など）が続く場合は登園を控え、医療機関を受診しましょう。登園のめやすは、入園のしおりに記載してありますが、受診した際に医師に確認していただくようお願いいたします。

上記の感染症に罹患した場合はこども園にご連絡ください。また、登園する際には、『登園届』の提出が必要となっております。



まずは 手洗いで感染を予防しましょう

ノロウイルスは人の手を介して感染が拡大します。特に、ふん便やおう吐物の処理時に手が汚染されやすいので注意が必要です。適切に力を十分に行なって感染予防に努めましょう。

手洗いのタイミング

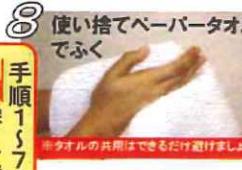
- ・トイレの後
- ・調理や食事の前
- ・排泄物の処理の後

手洗いの手順

汚れが落ちにくいところ



- 手を洗う前には指輪や腕時計をはずしましょう。
- お子さんが手を洗うときは大人がつきそってあげましょう。



○調理のポイント

ノロウイルスに汚染された食品を食べることにより、食中毒がおこります。
湯通し程度の加熱ではウイルスは死にませんので、中心部を85~90°Cで90秒以上加熱してから食べましょう。

★中心部を85~90°Cで90秒以上加熱しましょう。

★酢ではノロウイルスは死滅しません。
特に、抵抗力が弱い方（高齢者、乳幼児など）は十分に加熱して食べるようしましょう。

○調理器具の洗浄消毒

調理後（特に魚介類等の処理後）、調理器具はよく洗い、熱湯をかけたり塩素系漂白剤につけたりして十分に消毒しましょう。



下痢便・おう吐物の処理はどうするの？

準備する物

- ・ペーパータオルまたはティッシュ等・使い捨て手袋
- ・ビニール袋・おしりふき（便の処理）・マスク
- ・塩素系漂白剤（薄め方は下記参照）

1 窓を開けるなど部屋の換気をよくする。

2 指輪や腕時計などを外す。
使い捨て手袋、マスクを着用する。
使い捨て手袋がない場合はビニール袋等をかぶせ、直接手で触れないよう工夫する。

3 おしりふきなどで便をふきとる。

おう吐物はペーパータオル等で外側から内側にむけて静かにぬぐい取る。

便やおう吐物にはウイルスがいっぱい！



同じ面でこすると汚染を広げてしまうのでふき取り面を折り込みながらぬぐい取りましょう！

4 換換したおむつやふき取ったペーパータオル等をビニール袋に入れ、ビニール袋の口はすぐに閉じて処分する。

ビニール袋内に塩素系漂白剤をペーパータオル等に染み込む程度に入れるよ。

5 汚染物がついた床とその周囲は、塩素系漂白剤を染み込ませたペーパータオル等で浸すようにふく。

※フローリングやカーペットなど材質によっては変色等する可能性がありますので、確認してから消毒してください。

6 手袋等をはずし、十分に手洗い、うがいをする。手袋もビニール袋に入れて処分する。

衣類やシーツ等が汚れた場合には、下洗いしてから洗濯する。

塩素系漂白剤の薄め方（5%→0.1%）

ノロウイルスには加熱や塩素系漂白剤による消毒が有効です。
使用方法を守り、適正な濃度に薄めて使用しましょう。

塩素系漂白剤は商品により塩素濃度が異なるので確認してね！

濃度	商品名
約1%	ミルトン、ミルクポン、ピュリファンPなど
5~6%	ハイター、ブリーチ、ピューラックスなど
10~12%	ピューラックス-10など

① 5%塩素系漂白剤ペットボトルキャップ2杯分（約10ml）
※1%塩素系漂白剤の場合10杯分
10%塩素系漂白剤の場合1杯分

*使用する直前に薄め、その都度使い切るようにしましょう！

使用目的	適正な濃度
下痢便、おう吐物の処理時	0.1% (1,000ppm)
調理器具、トイレのドアノブ、便座、床などの日常的な消毒	0.02% (200ppm)

② 水をボトルいっぱいに入れて、薄める。

③ 50倍に薄まり、0.1%になる
※日常的な消毒には、さらに5倍薄めた0.02%のものを使用する。

*誤飲しないよう、作り置きはやめましょう！

500mlペットボトル

※上記は「ノロウイルス」の記載ですが「胃腸炎」も同様の扱いとなります。